

2023（令和5）年度

備前市 市民意識調査報告書



備前市
BIZEN CITY OKAYAMA

目次

I. 調査概要	- 1 -
1. 調査目的	- 1 -
2. 調査方法	- 1 -
3. 回収結果	- 1 -
4. 留意点	- 1 -
II. 調査結果	- 2 -
1. 回答者の属性	- 2 -
(1) 性別	- 2 -
(2) 年齢	- 2 -
(3) 居住地	- 2 -
(4) 回答方法	- 2 -
2. 各項目の評価と今後重点的に進めてほしい項目	- 3 -
3. デジタル化について	- 6 -
(1) マイナンバーカードを活用したサービス	- 6 -
(2) 備前市が提供するデジタル行政サービスの利用	- 6 -
(3) デジタル化進展の影響	- 6 -
4. まちの評価	- 7 -
(1) 備前市への愛着	- 7 -
(2) 定住意向	- 7 -
(3) 子育て環境	- 7 -
(4) 高齢者の生活環境	- 8 -
5. 普段の生活	- 9 -
(1) 自発的な学習への取組	- 9 -
(2) スポーツ（運動）への取組	- 10 -
(3) 自主的なボランティアへの参加	- 11 -
(4) 男女の対等な活躍の状況	- 12 -
(5) 暴力（DV）に関する相談窓口の認知度	- 13 -
(6) 芸術・文化に触れる機会	- 14 -
(7) 防災訓練活動への参加状況	- 15 -
(8) 災害等に備えた備蓄品の準備状況	- 16 -
(9) 自分の健康への関心	- 17 -
(10) スマートフォン（タブレット型端末を含む）の保有状況	- 18 -
(11) キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）の利用状況	- 19 -
(12) 電子地域ポイントの利用状況	- 20 -
(13) 市の窓口対応の状況	- 21 -
(14) 「広報びぜん」の認知度	- 22 -
(15) 「広報びぜん」の閲覧媒体について	- 23 -
(16) 市議会への関心度	- 24 -
(17) 「市議会だより」の認知度	- 25 -

I.調査概要

1.調査目的

本調査は、市が担うサービスの受け手である市民のみなさまに、市のこれまでの取組に対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対する考えをお伺いし、今後の市政運営の基礎資料として役立てることを目的として実施しました。

2.調査方法

本調査の実施概要は以下のとおりです。

項目	内容
①調査対象	市内在住の満 18 歳以上 75 歳未満の 3,000 人
②抽出方法	2023（令和 5）年 4 月 1 日現在で満 18 歳以上 75 歳未満の市民から無作為抽出
③調査方法	調査票を郵送で配布・回収、インターネット回答
④調査期間	2023（令和 5）年 6 月 1 日（木）～6 月 30 日（金） ※6 月 30 日（金）到着分までを集計・分析

3.回収結果

本調査の回収結果は、以下のとおりです。なお、参考までに H21 以降の回収結果も掲載しています。

項目\年度	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H29	R1	R3	R5
抽出数(件)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,500	3,000	3,000	3,000
返送数(件)	6	8	11	8	7	0	6	0	10	6
実送付数(件)	1,994	1,992	1,989	1,992	1,993	2,000	2,494	3,000	2,990	2,994
有効回答数(件)	977	811	892	702	844	815	836	945	1,041	902
有効回答率(%)	49.0	40.6	44.8	35.2	42.3	40.8	33.5	31.5	34.8	30.1

※H25 以降は隔年で調査を実施

4.留意点

本調査の結果に関する留意点は以下のとおりです。

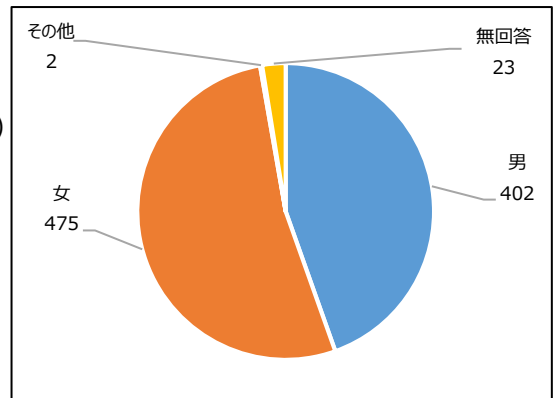
- ① 結果は百分率で表示しています。なお、百分率は小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100%と一致しない場合があります。
- ② 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

Ⅱ.調査結果

1.回答者の属性

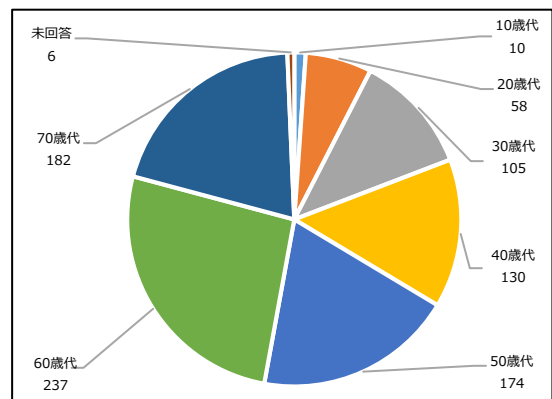
(1) 性別

「あなたの性別は？」の結果、「男」が402件（44.6%）
「女」が475件（52.7%）となっています。



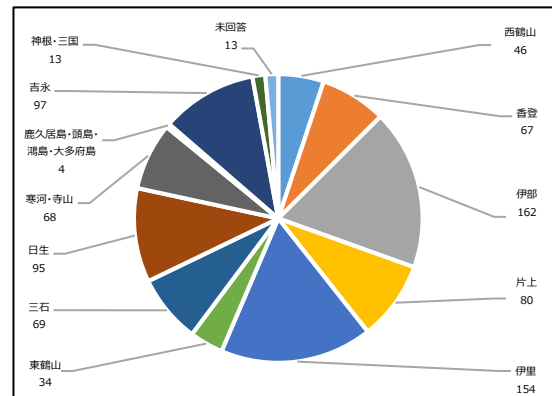
(2) 年齢

「あなたの年齢は？」の結果、「60歳代」が237件
（26.3%）、「70歳代」が182件（20.2%）であり、
60歳以上が46.5%となっています。



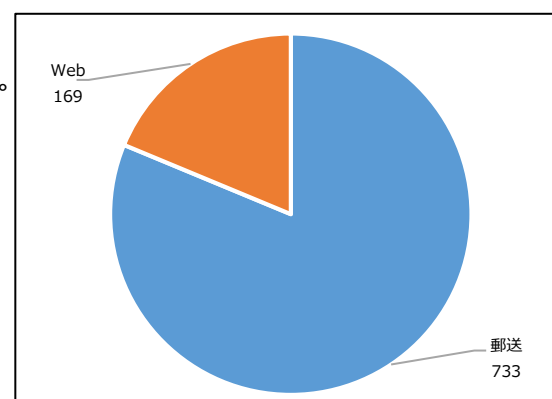
(3) 居住地

「あなたの居住地は？」の結果、「伊部」が162件
（18.0%）、「伊里」が154件（17.1%）、「吉永」が
97件（10.8%）となっています。



(4) 回答方法

本調査の回答方法は、「郵送」が733件、「Web」が
169件であり、Web回答は全体の18.7%となっています。



2.各項目の評価と今後重点的に進めてほしい項目

「各政策の項目について 5 段階評価してください」の結果、評価できる項目は「【政策 1】給食費及び学用品費の無償化」が 278 件と最も評価が高く、次いで、「【政策 3】特定検診・がん検診」が 195 件、「【政策 5】消防組織(東備消防・消防団)」が 180 件となっています。

「今後重点的に進めてほしい項目を 1 つの政策につき、それぞれ 3 つまで選んでください」の結果、「【政策 5】水の安定供給(料金)」が 272 件と最も高く、次いで、「【政策 6】市営バスの運行」が 270 件、「【政策 5】防災対策(防災無線、ハザードマップ、備蓄品)」が 242 件となっています。












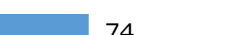


評価できる	【政策 1】教育・文化	今後重点的に進めてほしい
72	学びの環境づくり	147
122	新図書館の整備	148
50	公民館活動の充実	70
87	待機児童の解消	74
108	保育園及びこども園の運営	88
67	ICT(情報通信技術)環境を活用した教育	73
98	ALT(外国語指導助手)を活用した外国語教育環境	52
35	片上高校の魅力化推進	15
41	学校の再編整備	97
278	給食費及び学用品費の無償化	5
141	小・中学生昼食代ポイント事業	37
104	備前焼の PR	73
110	閑谷学校の PR	74
37	北前船寄港地の PR	11
61	新備前焼ミュージアムの建設	30
52	スポーツ施設の整備及び管理運営	98
65	スポーツによる活性化	69

評価できる	【政策 2】交流・コミュニティ	今後重点的に進めてほしい
67	自治会・町内会	229
39	ふるさとづくり事業	238
53	地域おこし協力隊	195
29	男女多様性の尊重	114
26	DV 被害への対応	53
41	国際交流	118
30	外国人への生活環境の整備	65

評価できる	【政策3】健康・福祉	今後重点的に進めてほしい
76	子どもから高齢者までの健康を支える環境づくり	188
195	特定検診・がん検診	118
44	メンタルヘルス	37
36	児童虐待防止	48
61	出産・育児に関する相談支援体制	84
88	育児に対する経済支援(家庭育児応援金など)	100
117	放課後児童クラブ	52
41	生活困窮者の自立及び就労支援	1
50	障がい者の自立及び就労支援	62
62	高齢者への支援(介護等)	172
47	老人クラブ支援	22
2	医療体制の充実	238
41	在宅医療サービスの提供	88

評価できる	【政策4】産業経済・都市計画	今後重点的に進めてほしい
19	企業誘致・企業支援	231
21	商工会議所・商工会支援	17
30	農道・水路・漁港	3
26	有害鳥獣対策	140
47	里海里山づくり	37
50	観光推進・情報発信	26
22	外国人観光客の誘客	25
44	市営駐車場の整備及び管理運営	26
23	都市計画・区画整理	24
48	旧アルファビゼンの再生	164
89	新築・家賃・リフォーム補助	96
62	空き家バンク	83
34	市営住宅の整備及び管理運営	24
32	分譲宅地造成	36

評価できる	【政策5】安全・生活基盤	今後重点的に進めてほしい
180	消防組織(東備消防・消防団)	107
123	防災対策(防災無線、ハザードマップ、備蓄品)	242
64	河川、ため池維持管理・改修	185
99	水の安定供給(料金)	272
125	生活排水の適正処理(下水道、浄化槽の整備)	32
52	市道・港湾の整備及び管理運営	156

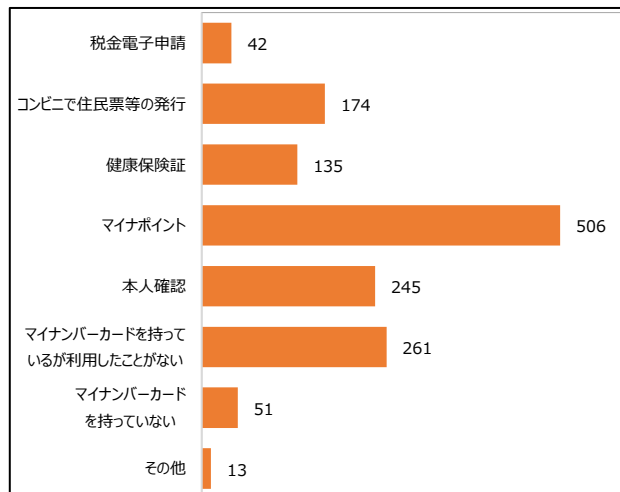
評価できる	【政策6】安全・生活基盤	今後重点的に進めてほしい
130 	市営バスの運行	 270
83 	デマンドタクシー	 134
78 	生活交通チケット	 139
77 	廃棄物の適正処理(減量化、再資源化)	 195
68 	斎場の運営、市営墓地の維持管理	 70
44 	環境保全(地球温暖化、大気汚染及び水質汚濁対策)	 165
101 	スマートフォン貸与事業	 74

3.デジタル化について

(1) マイナンバーカードを活用したサービス

「マイナンバーカードを活用したサービスで、利用したことがあるものをお答えください。」の結果、「マイナポイント」の活用が506件であり、全体の56.1%となっています。また、「マイナンバーカードを持っているが、利用したことがない」が261件であり、全体の28.9%となっています。

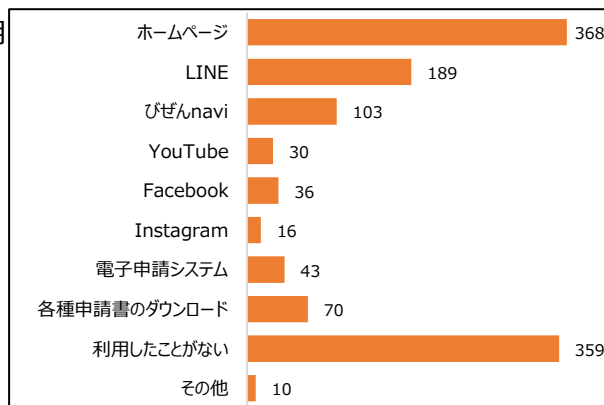
「その他」の回答の中には「市営バス乗車時の提示」や「ふるさと納税」などにマイナンバーカードを活用しているとの回答がありました。



(2) 備前市が提供するデジタル行政サービスの利用

「備前市で提供しているデジタル行政サービスで利用したことがあるものをお答えください」の結果、「ホームページ」が368件であり、全体の40.8%となっています。

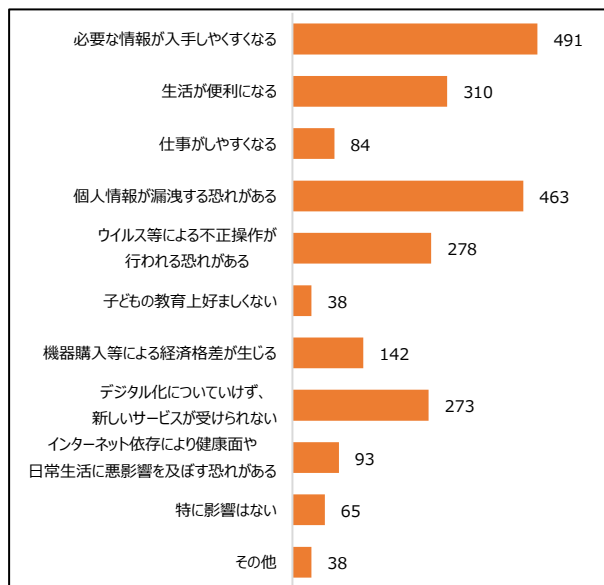
また、「利用したことがない」が359件であり、全体の39.8%となっています。



(3) デジタル化進展の影響

「デジタル化が進展することによって、どのような影響があると思いますか」の結果、「必要な情報が入手しやすくなる」が491件であり、全体の54.4%となっています。

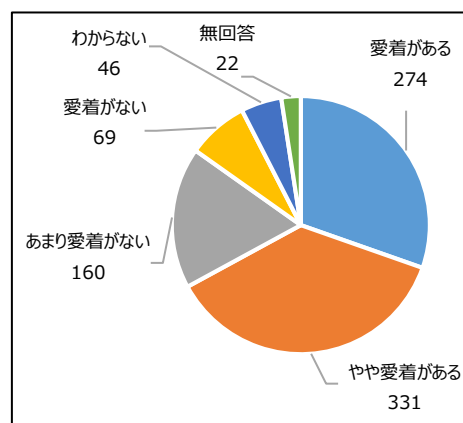
また、「個人情報が漏洩する恐れがある」が463件であり、全体の51.3%となっています。



4.まちの評価

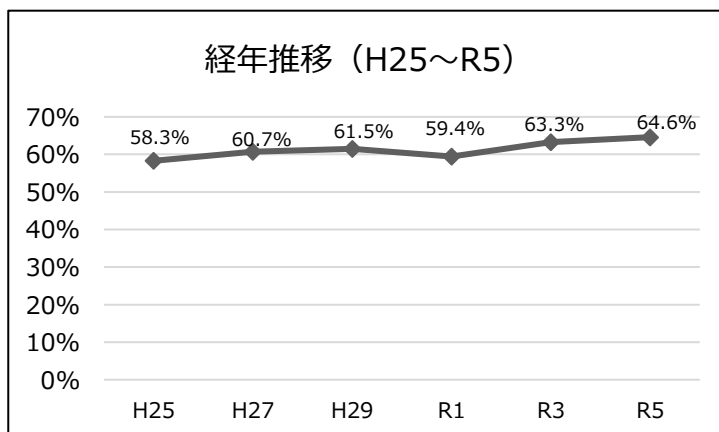
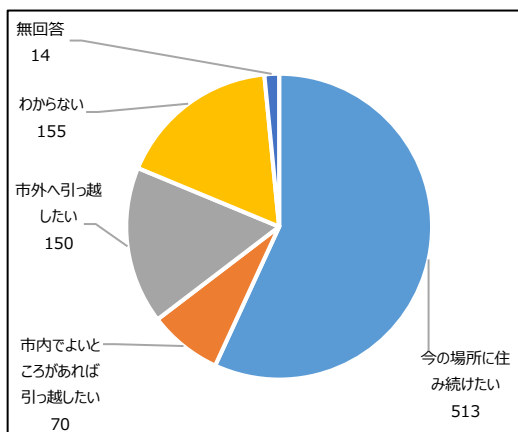
(1) 備前市への愛着

「あなたは、「備前市」に愛着を持っていますか？」の結果、「備前市に愛着がある（「愛着がある」「やや愛着がある」の合計）」が605件であり、全体の67.1%となっています。



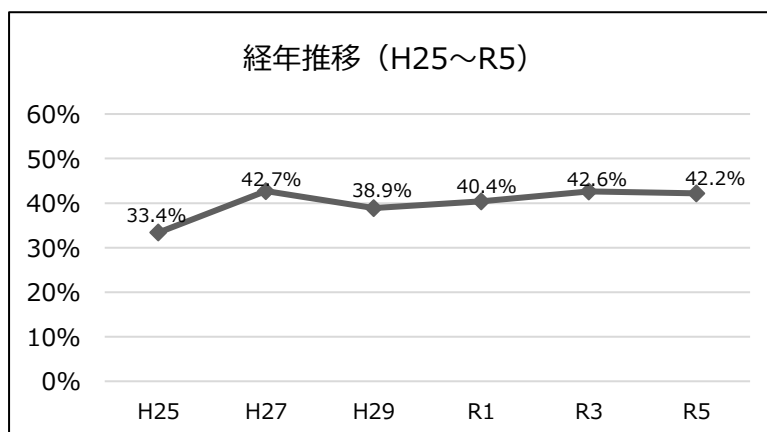
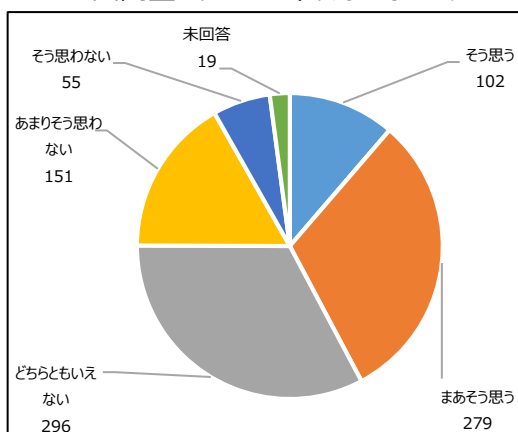
(2) 定住意向

「あなたは、今の場所に住み続けたいと思いますか？それとも引っ越したいと思いますか？」の結果、「備前市に住み続けたい（「今の場所に住み続けたい」「市内でよいところがあれば引っ越したい」の合計）」が583件であり、全体の64.6%となっています。また、経年推移（H25～R5）では、緩やかな右肩上がりでの推移しており、今年度は前回調査より1.3%高くなっています。



(3) 子育て環境

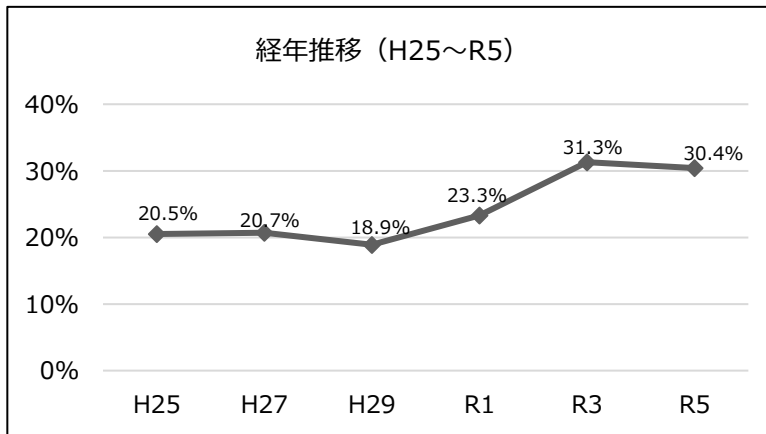
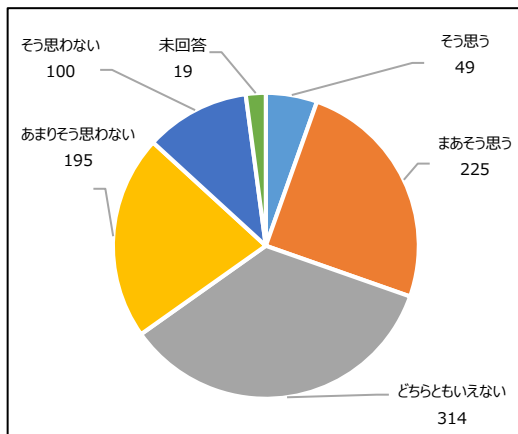
「あなたは、「備前市は安心して子どもを産み育てることができるまちだ」と思いますか？」の結果、「備前市は安心して子どもを産み育てることができるまち（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した方が381件であり、全体の42.2%となっています。また、経年推移（H25～R5）では、横ばいで推移しており、今年度は前回調査より0.4%低くなっています。



(4) 高齢者の生活環境

「あなたは、「備前市は高齢者が安心して生活できるまち」だと思いますか？」の結果、「備前市は高齢者が安心して生活できるまち（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した方は274件であり、全体の30.4%となっています。

また、経年推移（H25～R5）では、緩やかな右肩上がりで推移しており、今年度は前回調査より0.9%低くなっています。

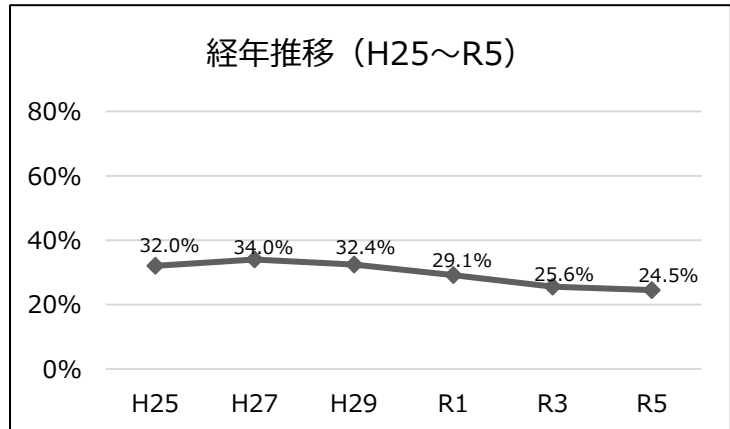
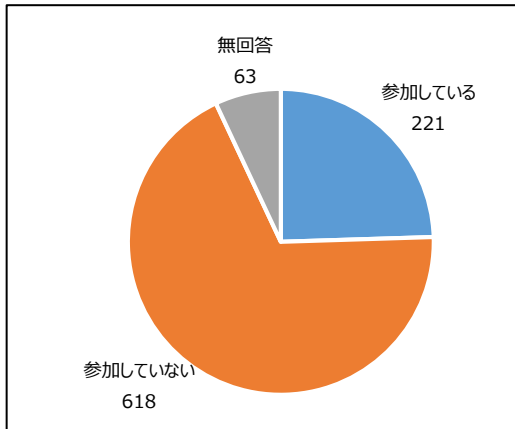


5. 普段の生活

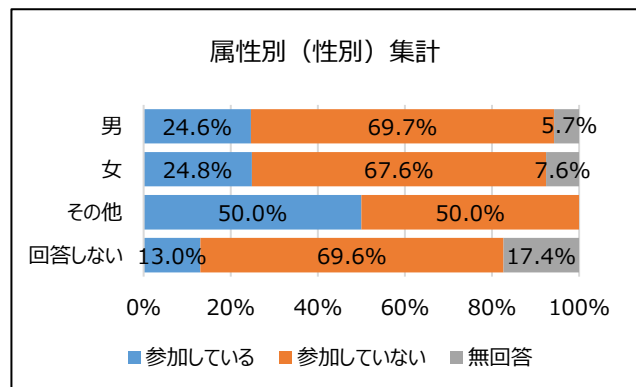
(1) 自発的な学習への取組

「あなたは、自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やグループ活動に参加していますか？」の結果、自発的な学習や趣味の会やグループ活動に「参加している」が 221 件であり、全体の 24.5%となっています。

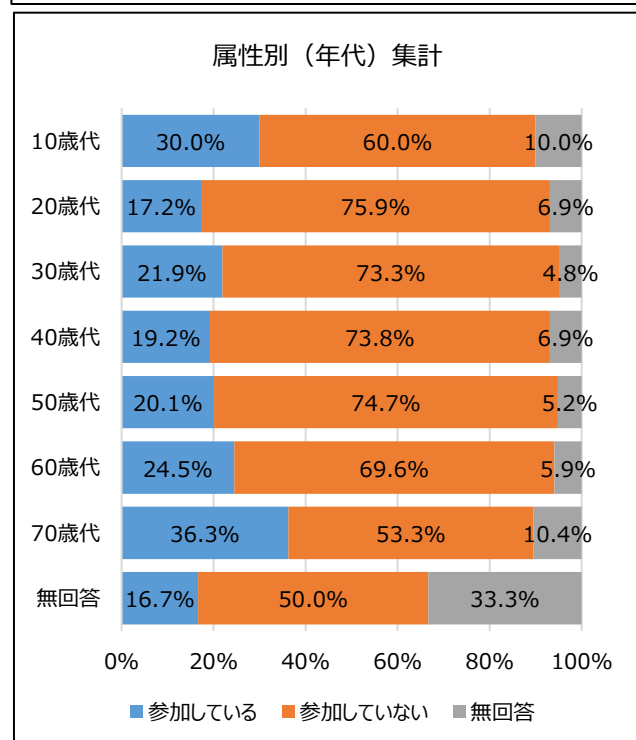
また、経年推移（H25～R5）では、緩やかな右肩下がり推移しており、今年度は前回調査より 1.1%低くなっています。



属性別（性別）集計結果では、自発的な学習や趣味の会やグループ活動に「参加している」と回答した割合は、男女で特に差は見られません。



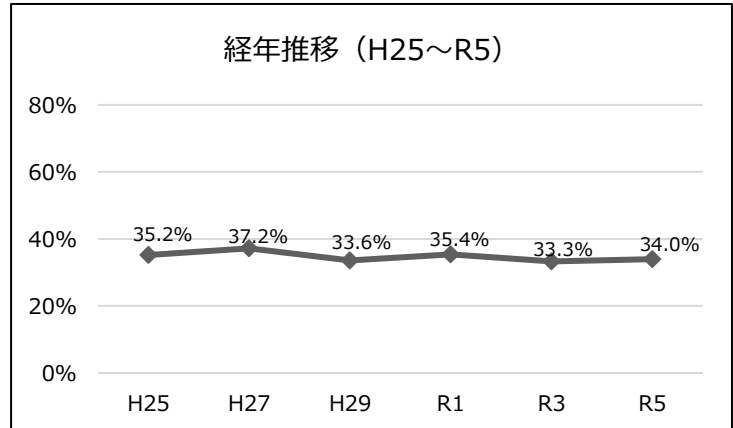
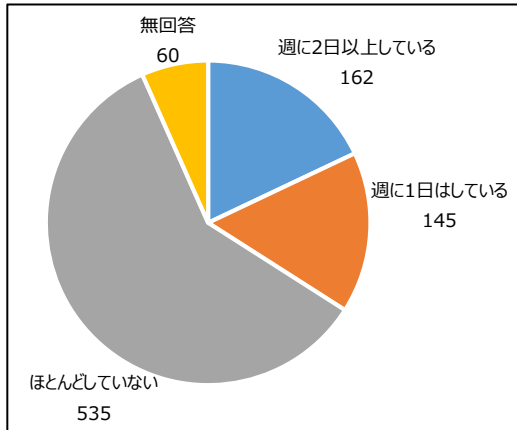
属性別（年代）集計結果では、自発的な学習や趣味の会やグループ活動に「参加している」と回答した割合は、70 歳代が他の年代より高くなっています。



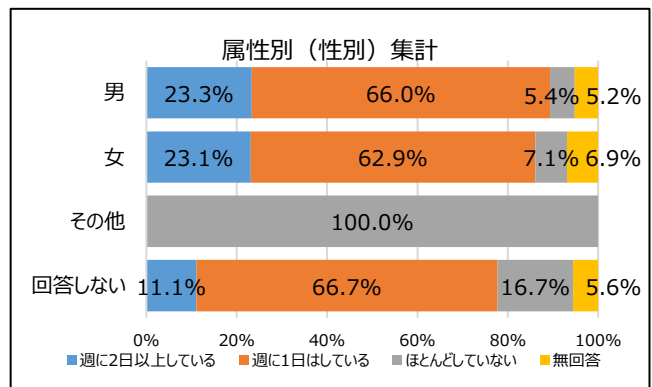
(2) スポーツ（運動）への取組

「あなたは、スポーツ（運動）を定期的に行っていますか？」の結果、「スポーツ（運動）を定期的に行っている（「週に2日以上している」「週に1日はしている」の合計）」が307件であり、全体の34.0%となっています。

また、経年推移（H25～R5）では、35%前後で推移しています。

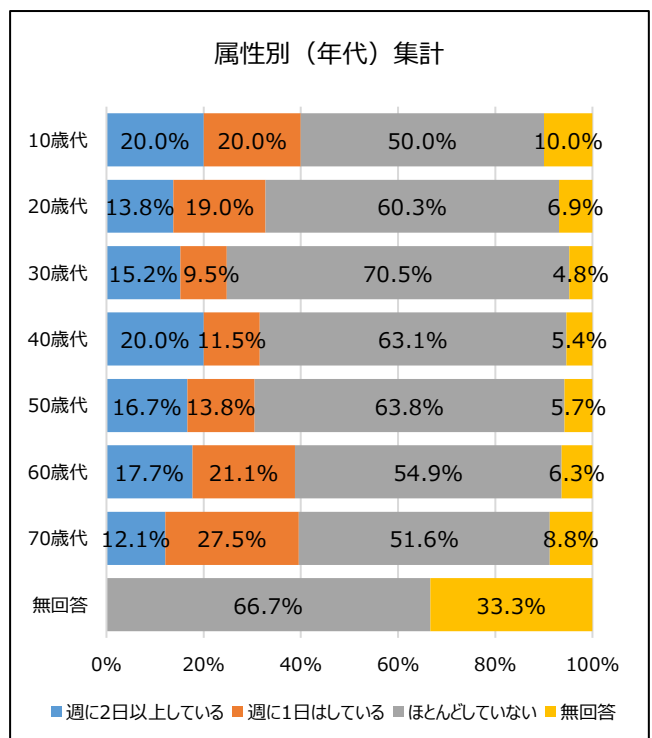


属性別（性別）集計結果では、「スポーツ（運動）を定期的に行っている（「週に2日以上している」「週に1日はしている」の合計）」と回答した割合は、男女で特に差は見られません。



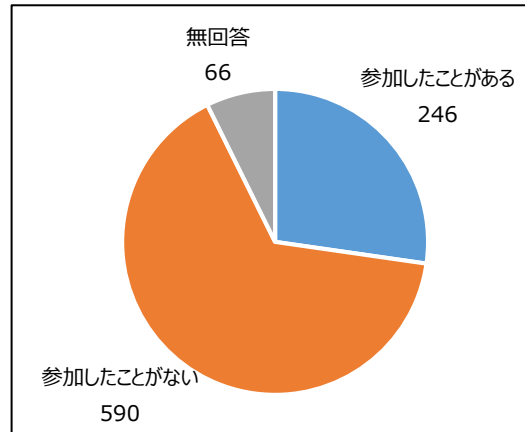
属性別（年代）集計結果では、「スポーツ（運動）を定期的に行っている（「週に2日以上している」「週に1日はしている」の合計）」は10歳代、60歳代、70歳代で他の年代と比べて高くなっています。

また、30歳代が他の年代と比べて低くなっています。

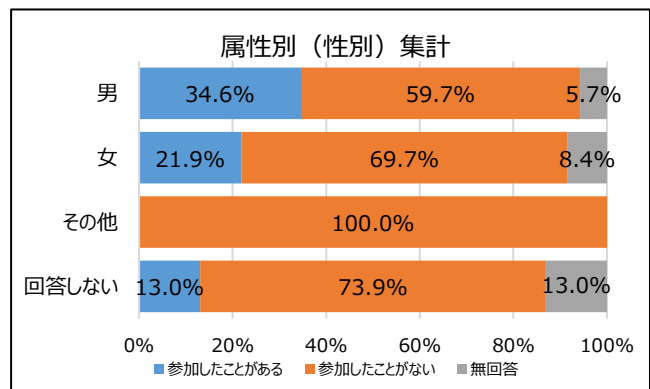


(3) 自主的なボランティアへの参加

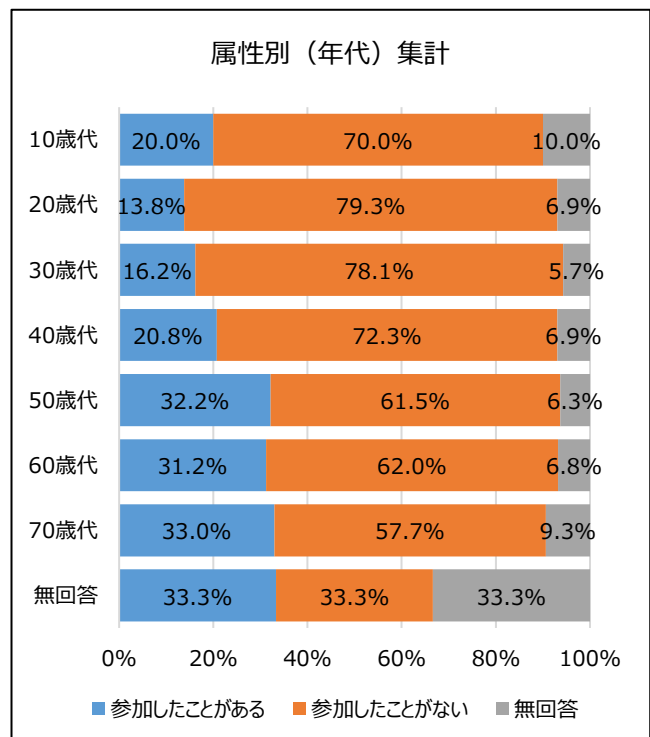
「あなたは、この1年間にボランティア活動に参加したことはありますか？」の結果、「参加したことがある」が246件であり、全体の27.3%となっています。



属性別（性別）集計結果では、「参加したことがある」と回答した割合は女性より男性の方が高くなっています。



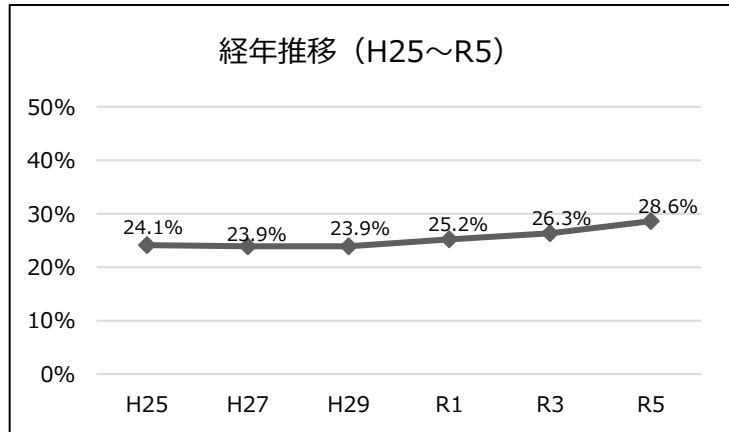
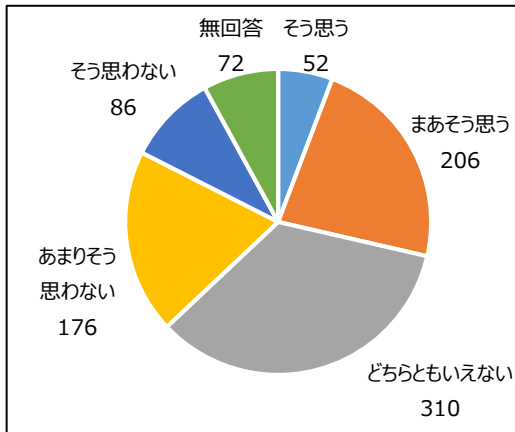
属性別（年代）集計結果では、「参加したことがある」と回答したのは50歳代～70歳代が他の年代と比べて高くなっています。



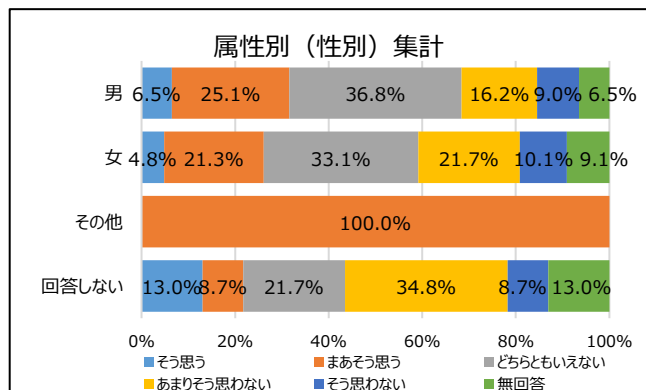
(4) 男女の対等な活躍の状況

「あなたは、「地域や職場で男女が対等に活躍できている」と思いますか？」の結果、「地域や職場で男女が対等に活躍できていると思う（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」は 258 件であり、全体の 28.6%となっています。

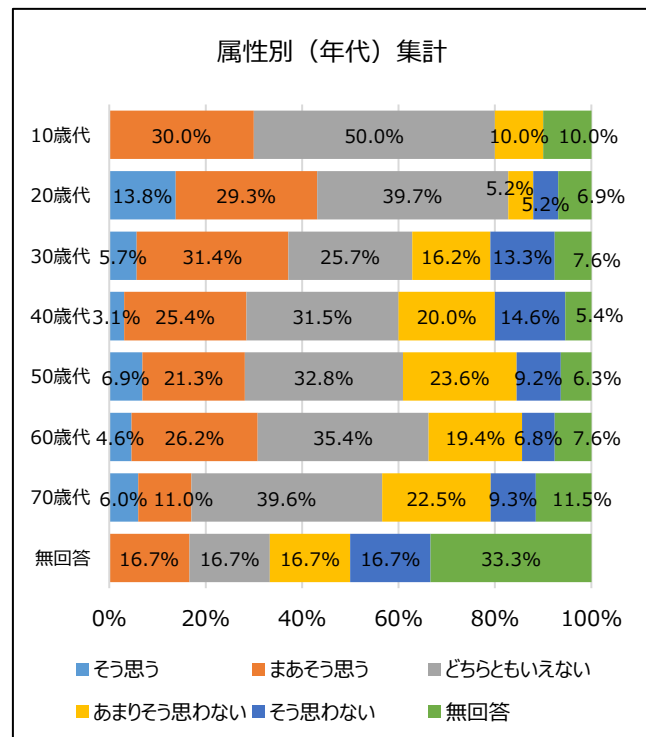
また、経年推移（H25～R5）では、緩やかな右肩上がりでも推移しており、R5 は前回調査より 2.3%高くなっています。



属性別（性別）集計結果では、「地域や職場で男女が対等に活躍できていると思う（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合は、男性の方が女性よりやや高くなっています。



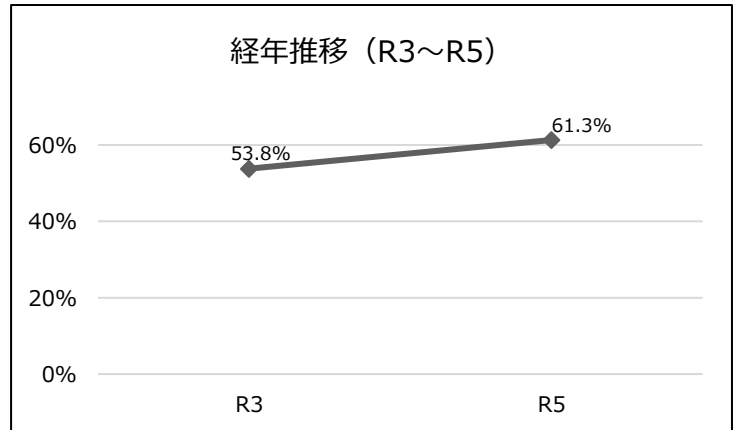
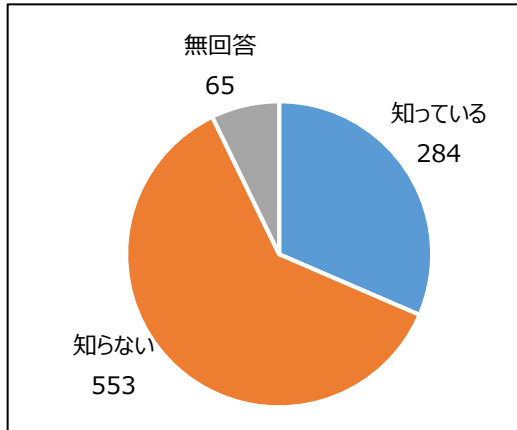
属性別（年代）集計結果では、「地域や職場で男女が対等に活躍できていると思う（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合は 20 歳代と 30 歳代が他の年代と比べて高くなっています。



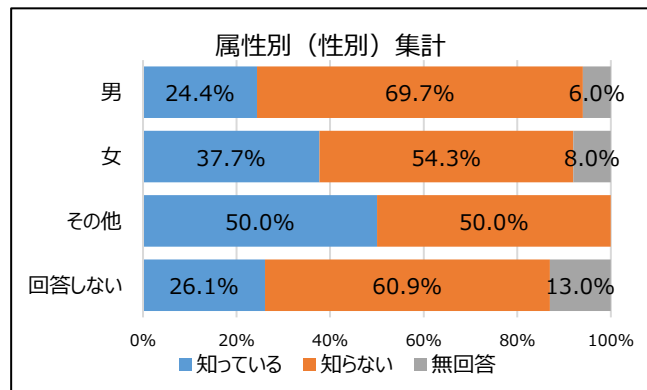
(5) 暴力（DV）に関する相談窓口の認知度

「あなたは、配偶者からの暴力（DV）に関する相談窓口の存在を知っていますか？」の結果、配偶者からの暴力（DV）に関する相談窓口の存在を「知らない」が 553 件であり、全体の 61.3%となっています。

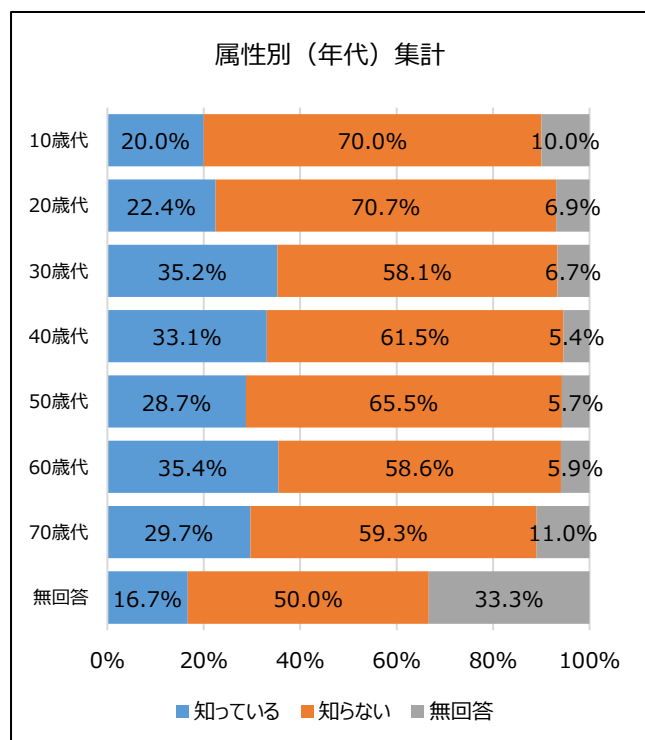
また、R5 は前回調査より 7.5%高くなっています。



属性別（性別）集計結果では、配偶者からの暴力（DV）に関する相談窓口の存在を「知らない」と回答した割合は女性より男性の方が高くなっています。



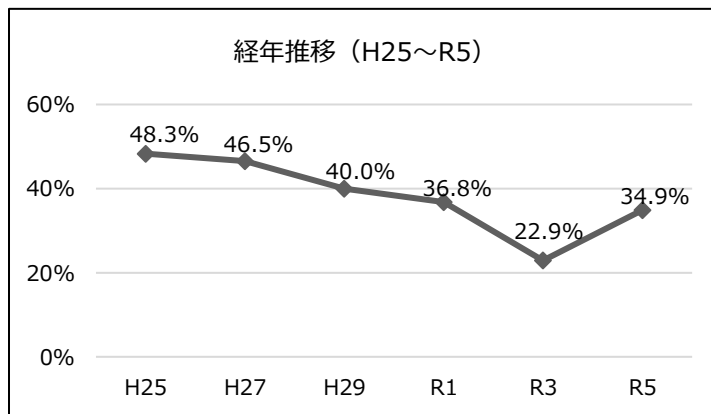
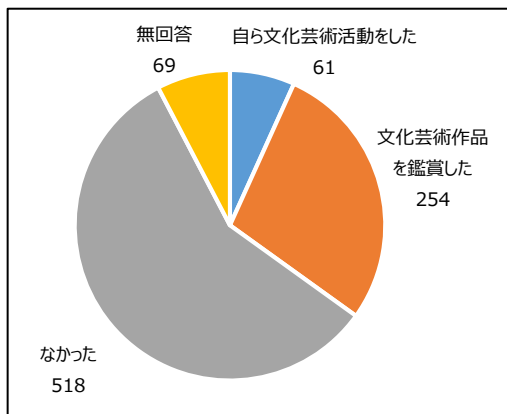
属性別（年代）集計結果では、配偶者からの暴力（DV）に関する相談窓口の存在を「知らない」と回答した割合は 30 歳代以上で 50~60%程度となっています。特に、10 歳代及び 20 歳代が他の年代と比べて高くなっています。



(6) 芸術・文化に触れる機会

「あなたは、この1年間に芸術・文化に接する機会がありましたか？」の結果、「この1年間に芸術・文化に接する機会があった（「自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」の合計）」は、315件であり、全体の34.9%となっています。

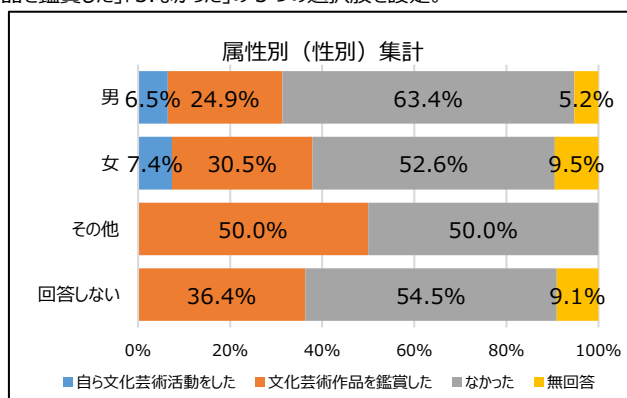
また、経年推移（H25～R5）では、調査方法は異なりますが、右肩下がりでも推移していましたが、R5は前回調査より12.0%高くなっています。



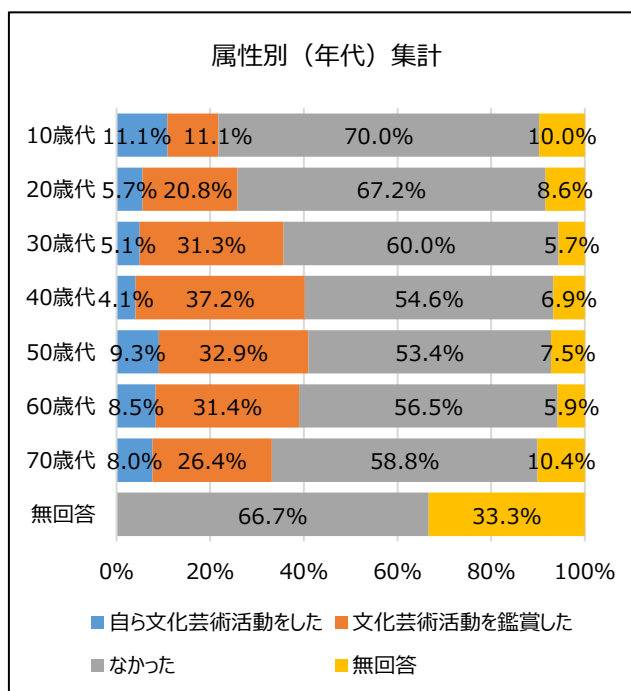
※H25とH27は「1.美術展、舞台芸術、コンサート、映画など文化芸術作品の鑑賞を行った」「2.演奏や作品の創作、囲碁、将棋、茶道、華道など自ら文化芸術を行った」「3.鑑賞や文化芸術活動は行わなかった」の3つの選択肢を設定。

※H29、R1、R3及びR5は「1.自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」「3.なかった」の3つの選択肢を設定。

属性別（性別）集計結果では、「この1年間に芸術・文化に接する機会があった（「自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」の合計）」と回答した割合は男性より女性の方がやや高くなっています。

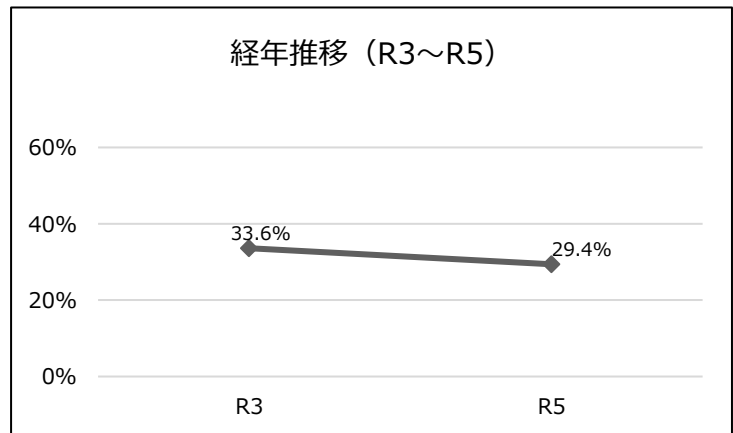
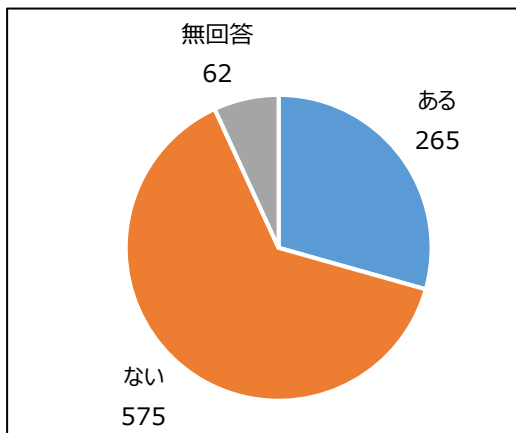


属性別（年代）集計結果では、「この1年間に芸術・文化に接する機会があった（「自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」の合計）」と回答した割合は30歳代～60歳代が他の年代と比べて高くなっています。

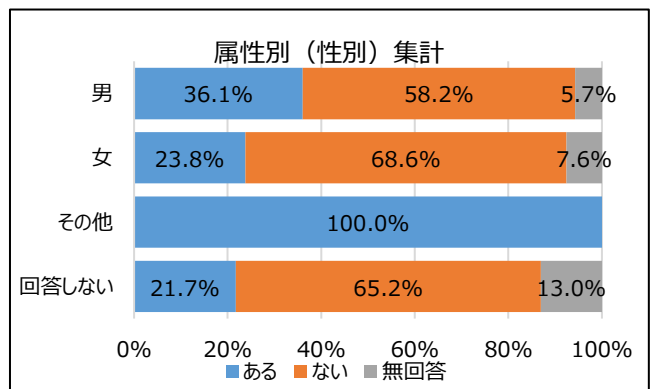


(7) 防災訓練活動への参加状況

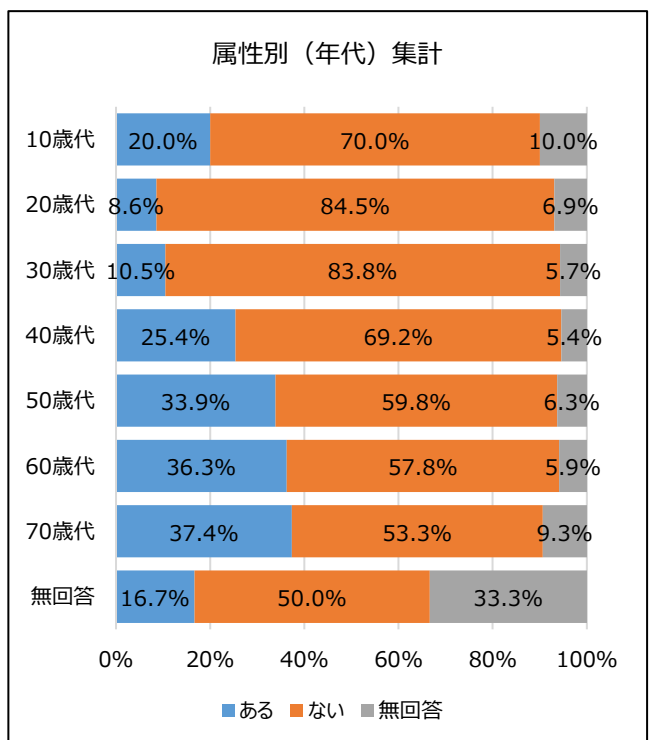
「あなたは、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことがありますか？」の結果、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことが「ある」が 265 件であり、全体の 29.4%となっています。また、R5 は前回調査より 4.2%低くなっています。



属性別（性別）集計結果では、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことが「ある」と回答した割合は女性より男性の方が高くなっています。



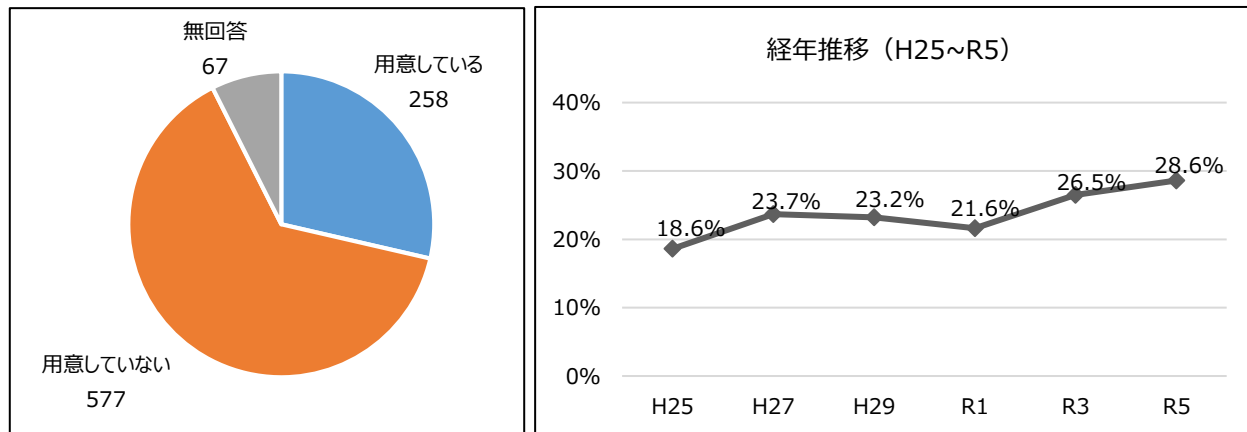
属性別（年代）集計結果では、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことが「ある」と回答した割合は、20 歳代以降は年代が上がるにつれて高くなっています。



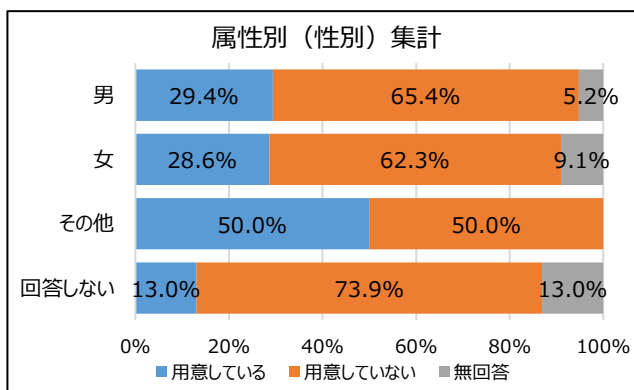
(8) 災害等に備えた備蓄品の準備状況

「あなた（の世帯）は、災害等に備えて備蓄品を3日分用意していますか？」の結果、災害等に備えて備蓄品を3日分「用意している」が258件であり、全体の28.6%となっています。

また、経年推移（H25～R5）では、増加傾向にあり、R5は前回調査より2.1%高くなっています。

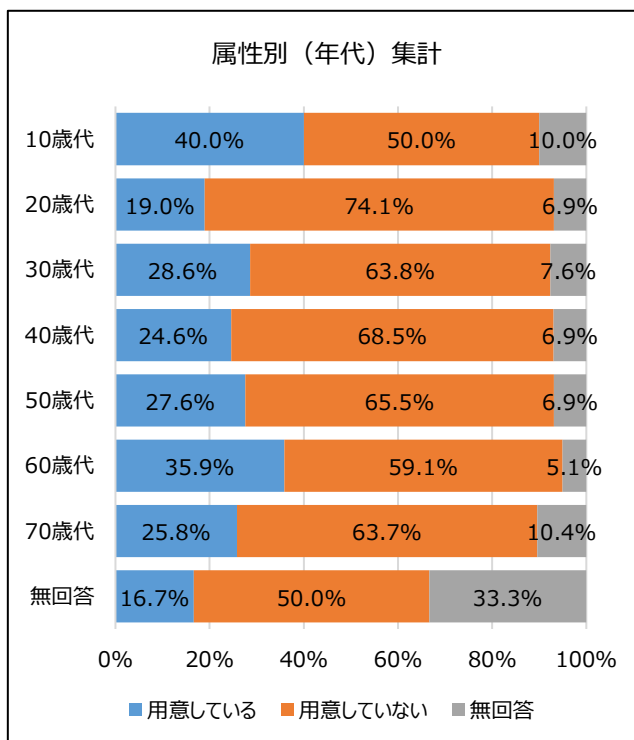


属性別（性別）集計結果では、災害等に備えて備蓄品を3日分「用意している」と回答した割合は、男女での差は特に見られませんでした。



属性別（年代）集計結果では、災害等に備えて備蓄品を3日分「用意している」と回答した割合は10歳代、60歳代が他の年代と比べて高くなっています。

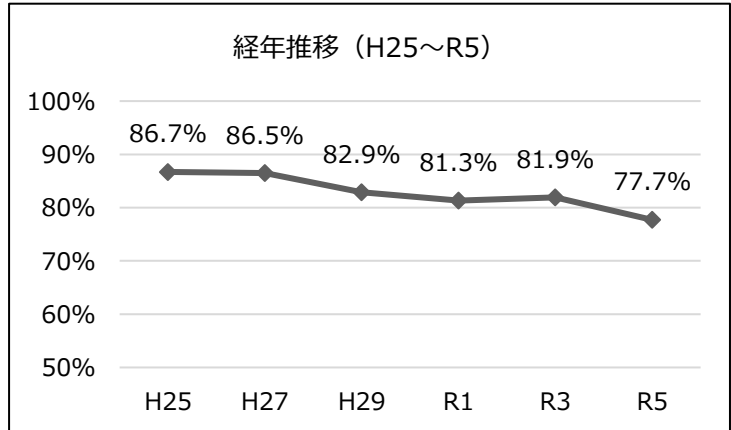
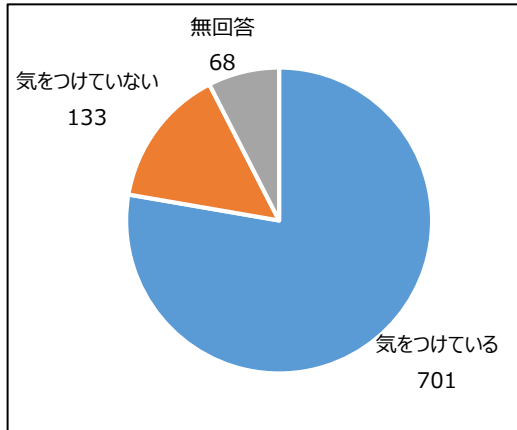
また、20歳代が他の年代と比べて低くなっています。



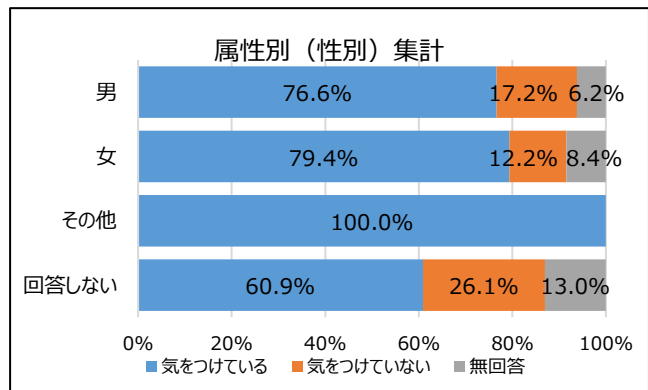
(9) 自分の健康への関心

「あなたは、自分の健康に気をつけていますか？」の結果、自分の健康に「気をつけている」が 701 件であり、全体の 77.7%となっています。

また、経年推移（H25～R5）では、緩やかな右肩下がり推移しており、R5 は前回調査より 4.2%低くなっています。

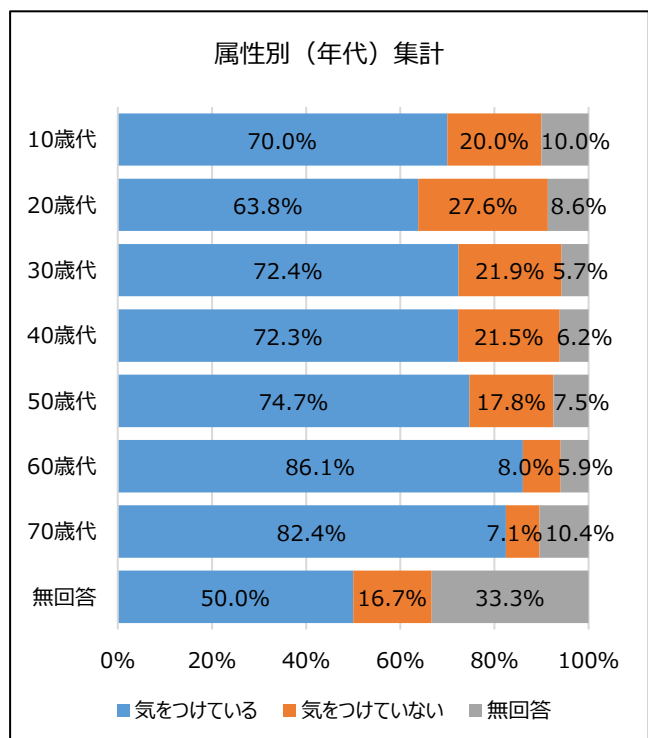


属性別（性別）集計結果では、自分の健康に「気をつけている」と回答した割合は男性より女性の方がやや高くなっています。



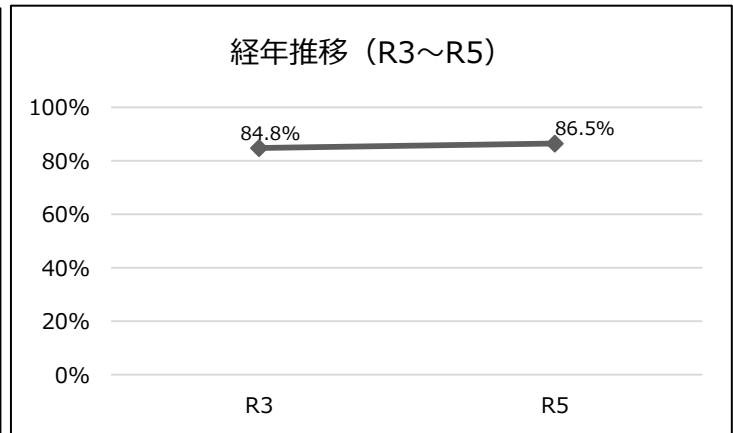
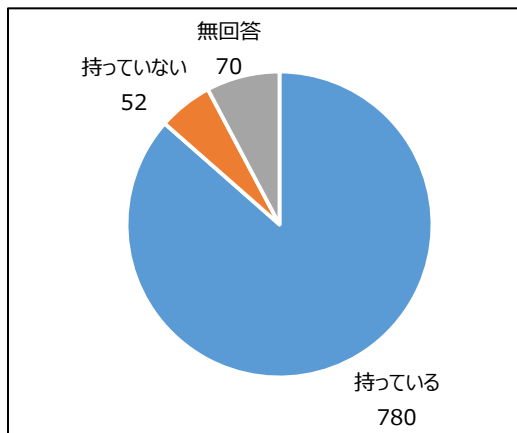
属性別（年代）集計結果では、自分の健康に「気をつけている」と回答した割合は 60 歳代、70 歳代が他の年代と比べて高くなっています。

また、20 歳代が他の年代と比べて低くなっています。

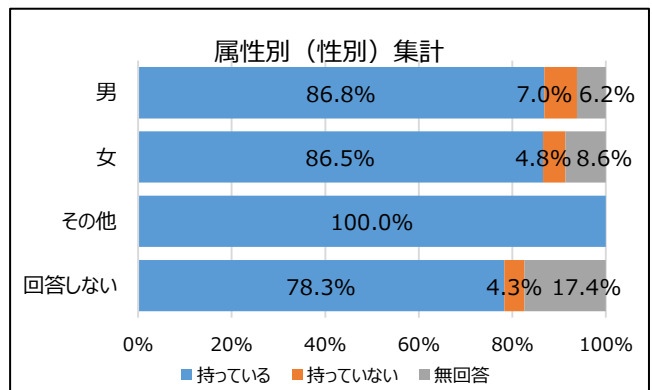


(10) スマートフォン（タブレット型端末を含む）の保有状況

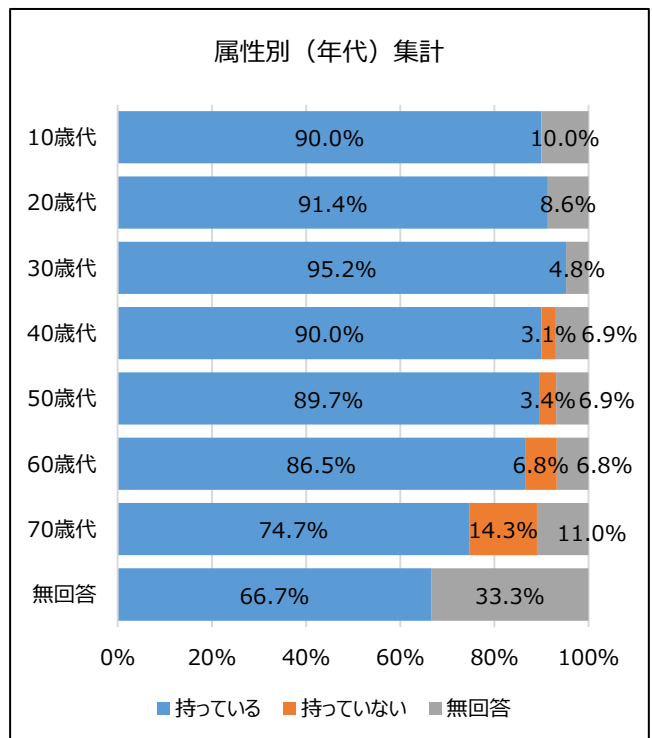
「あなたは、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を持っていますか？」の結果、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を「持っている」が780件であり、全体の86.5%となっています。また、R5は前回調査より1.7%高くなっています。



属性別（性別）集計結果では、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を「持っている」と回答した割合は、男女で特に差は見られません。

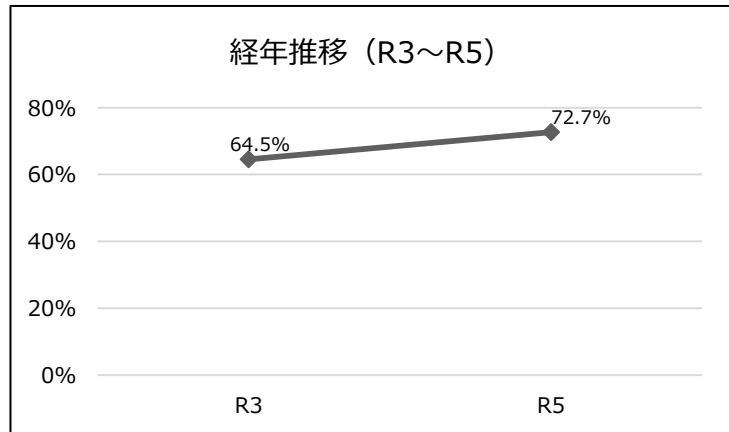
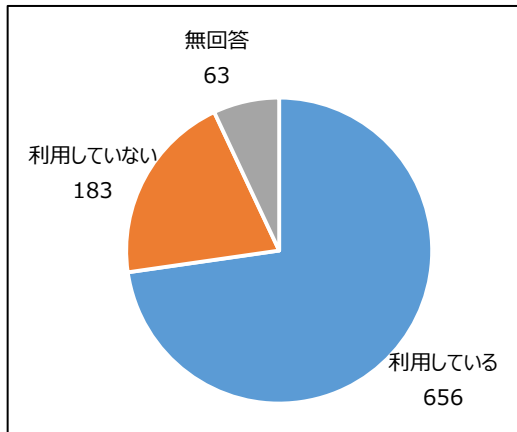


属性別（年代）集計結果では、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を「持っている」と回答した割合は10歳代から60歳代までの年代で80%を上回っています。一方で、70歳代は他の年代と比べて低くなっています。

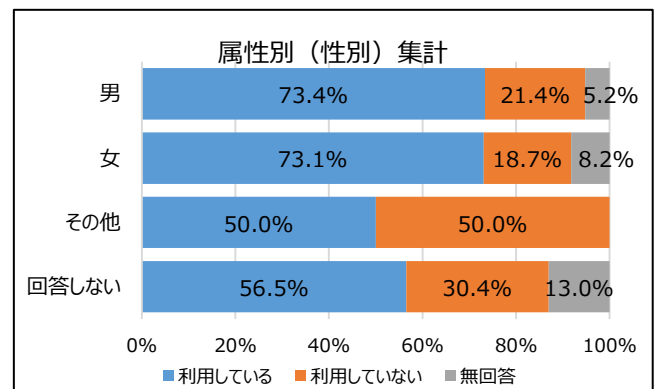


(11) キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）の利用状況

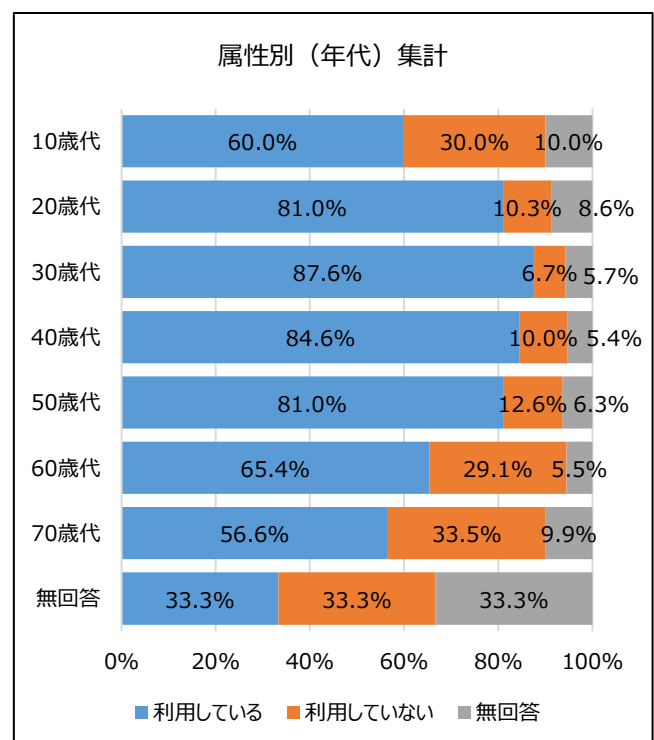
「あなたは、現在、キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）を利用していますか？」の結果、現在、キャッシュレス決済を「利用している」が656件であり、全体の72.7%となっています。また、R5は前回調査より8.2%高くなっています。



属性別（性別）集計結果では、現在、キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）を「利用している」と回答した割合は、男女で特に差は見られませんでした。

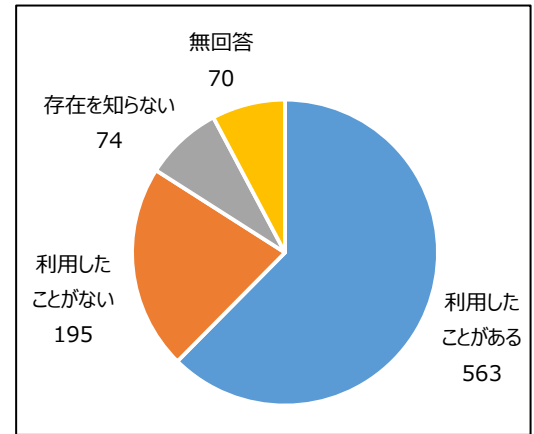


属性別（年代）集計結果では、現在、キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）を「利用している」と回答した割合は、30歳代が、もっとも高く、87.6%となっています。

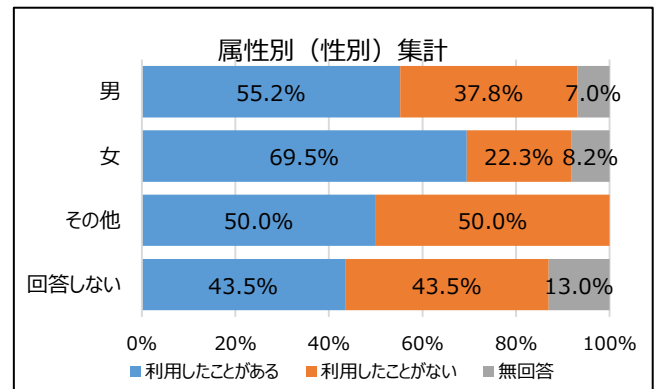


(12) 電子地域ポイントの利用状況

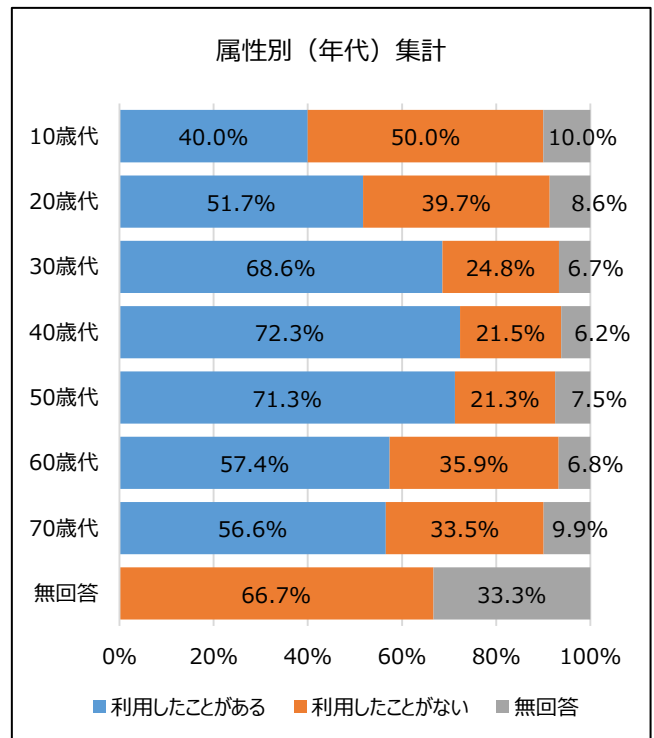
「あなたは、備前市の電子地域ポイントを利用したことがありますか？」の結果、「利用したことがある」が563件であり、全体の62.4%となっています。



属性別（性別）集計結果では、現在、電子地域ポイントを「利用したことがある」と回答した割合は男性より女性の方が高くなっています。



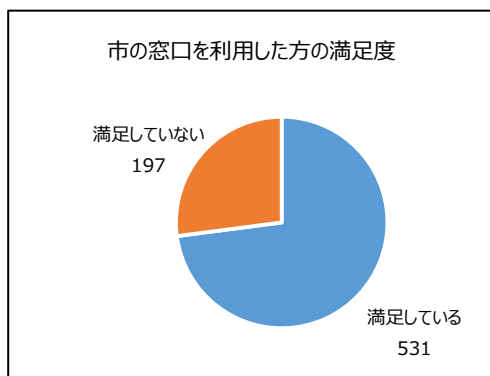
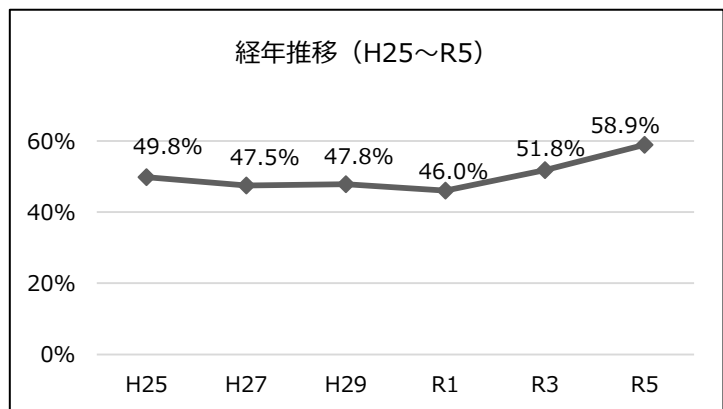
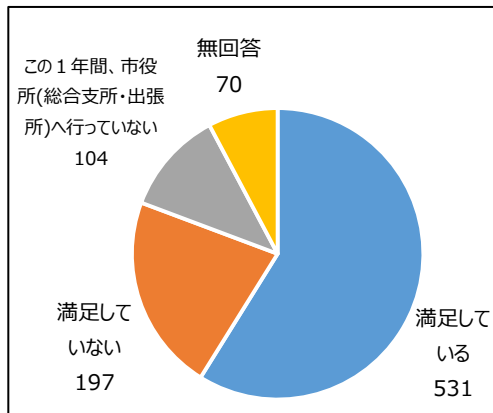
属性別（年代）集計結果では、現在、電子地域ポイントを「利用している」と回答した割合は、20歳以上のどの年代でも50%を上回り、特に30歳代から50歳代がほかの年代と比べて高くなっています。



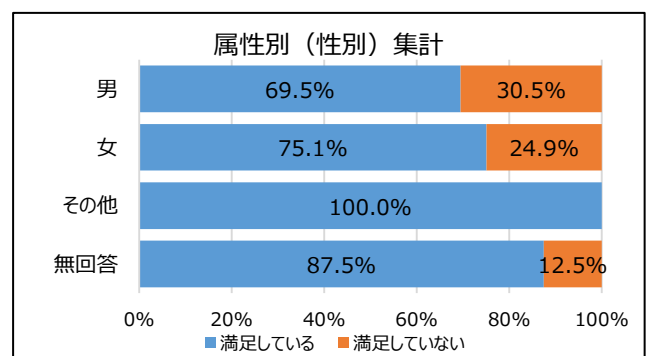
(13) 市の窓口対応の状況

「あなたは、市の窓口での対応に満足していますか？」の結果、市の窓口での対応に「満足している」が 531 件であり、全体の 58.9%となっています。

また、経年推移（H25～R5）では、R5 は前回調査より 7.1%高くなっています。

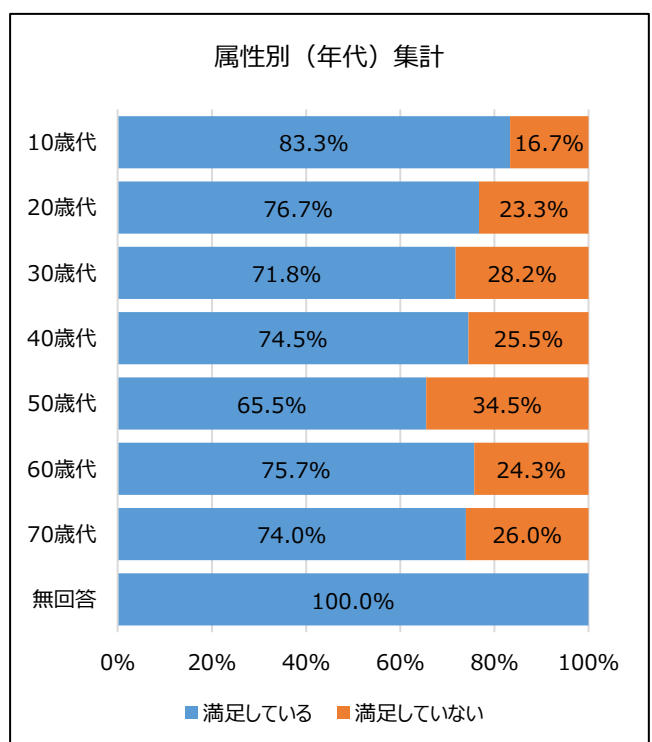


市の窓口を利用した（「満足している」「満足していない」）方（n=728）の回答は、「満足している」が 531 件（72.9%）、「満足していない」が 197 件（27.1%）となっています。



市の窓口を利用した（「満足している」「満足していない」）方（n=728）の属性別（性別）集計結果では、市の窓口での対応に「満足している」と回答した割合は男性より女性の方がやや高くなっています。

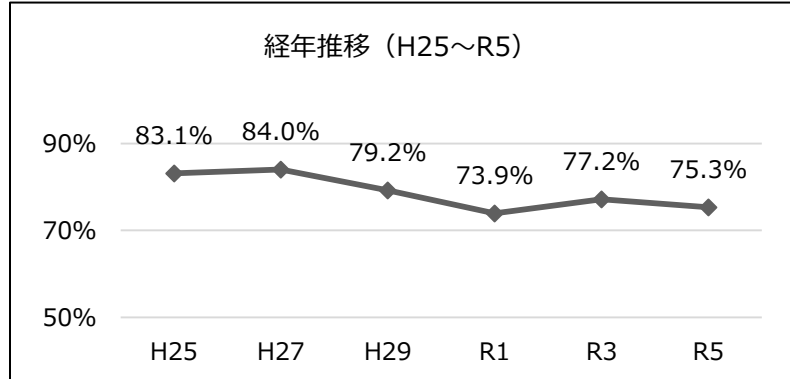
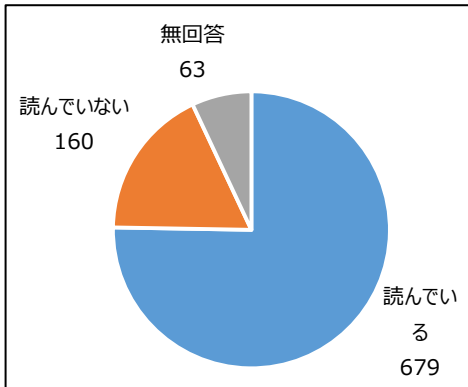
市の窓口を利用した（「満足している」「満足していない」）方（n=728）の属性別（年代）集計結果では、市の窓口での対応に「満足している」と回答した割合は、全ての年代で 65%を上回っています。



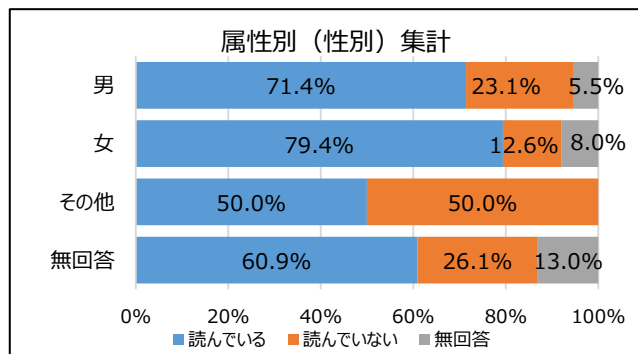
(14) 「広報びぜん」の認知度

「あなたは、「広報びぜん」を読んでいますか？」の結果、「広報びぜん」を「読んでいる」が679件であり、全体の75.3%となっています。

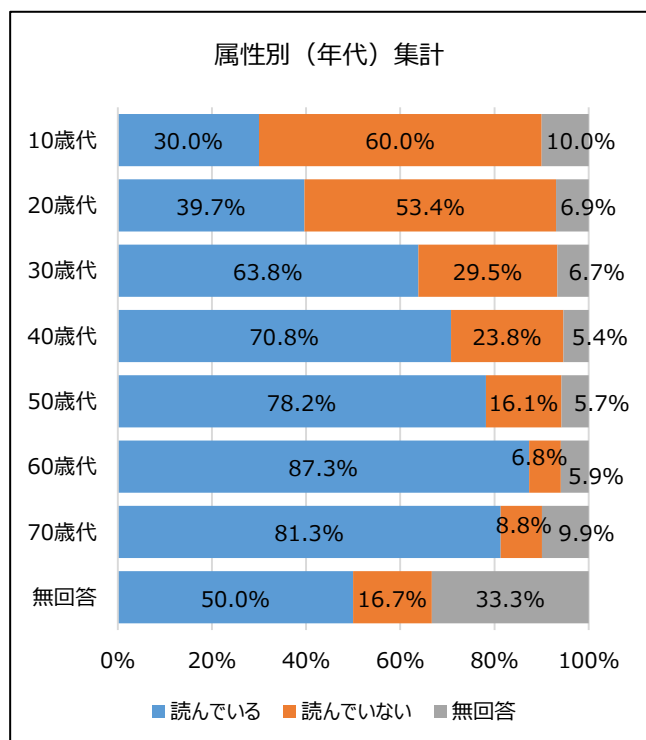
また、経年推移（H25～R5）では、R5は前回調査より1.9%低くなっています。



属性別（性別）集計結果では、「広報びぜん」を「読んでいる」と回答した割合は男性より女性の方がやや高くなっています。

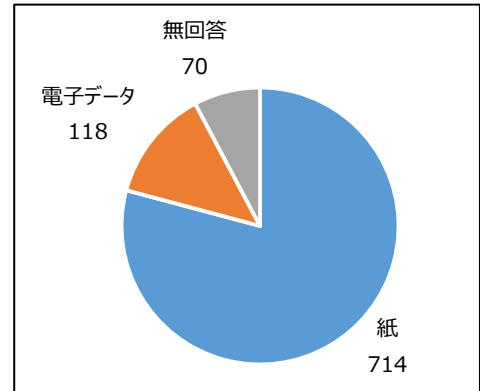


属性別（年代）集計結果では、「広報びぜん」を「読んでいる」と回答した割合は、年代が上がるにつれて高くなっている傾向にあります。

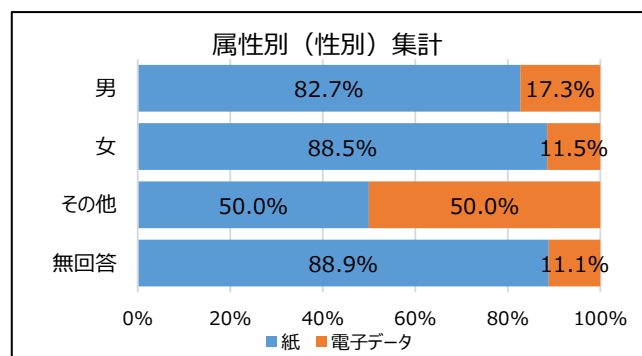


(15) 「広報びぜん」の閲覧媒体について

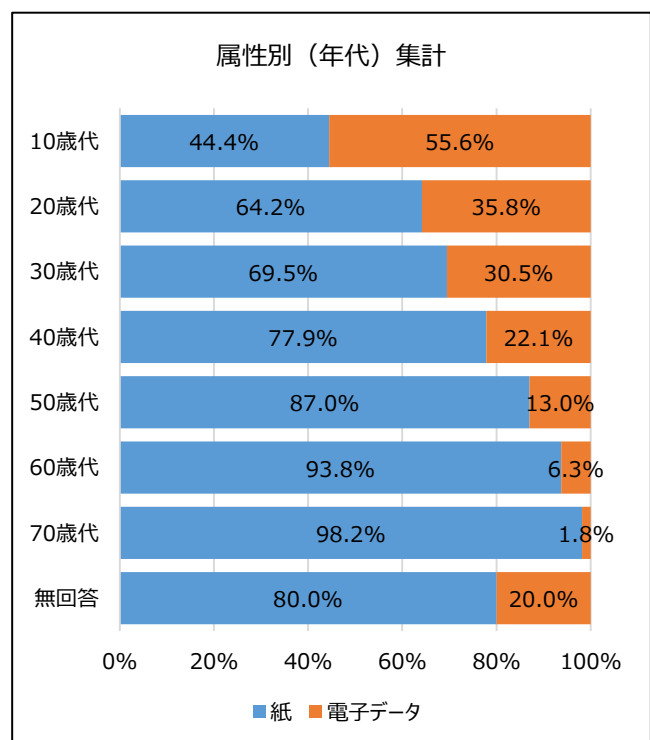
「あなたは、「広報びぜん」をどの媒体で読みたいですか」の結果、「紙」が714件であり、全体の79.2%となっています。



属性別（性別）集計結果では、を「「広報びぜん」を紙で読みたい」と回答した割合は男性より女性の方がやや高くなっています。



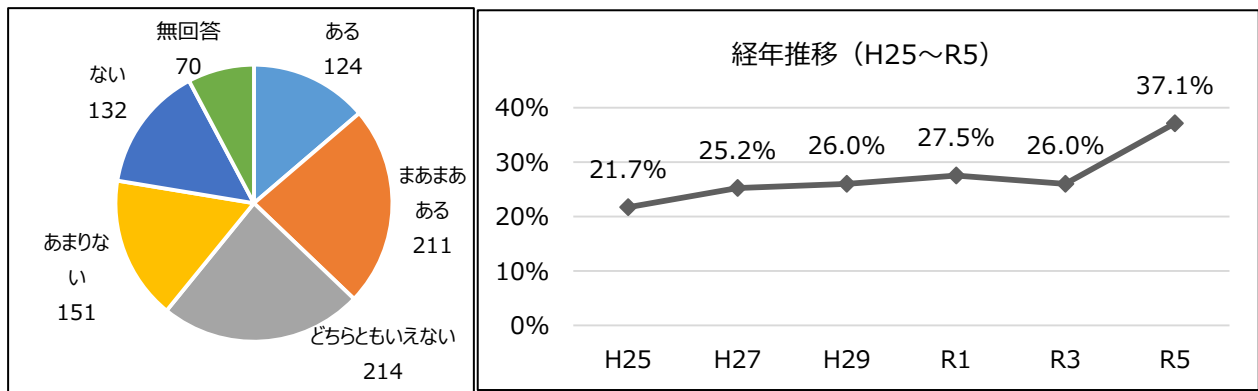
属性別（年代）集計結果では、「「広報びぜん」を電子データで読みたい」と回答した割合は、年代が下がるにつれて高くなっています。



(16) 市議会への関心度

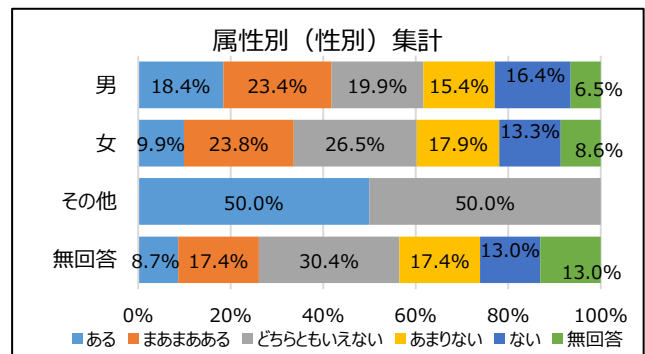
「あなたは、備前市議会に関心がありますか？」の結果、「議会に関心がある（「ある」「まあまあある」の合計）」は 335 件であり、全体の 37.1%となっています。

また、経年推移（H25～R5）では、R5 は前回調査より 11.1%高くなっています。



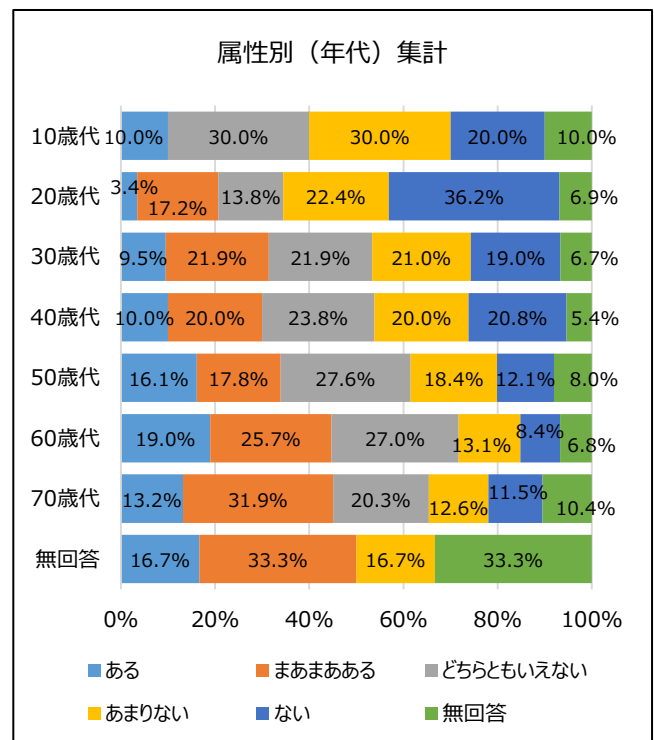
※ R3 以前は「備前市議会の活動内容を知っているか」の質問に対し、「知っている」と答えた人の割合

属性別（性別）集計結果では、「議会に関心がある（「ある」「まあまあある」の合計）」と回答した割合は女性より男性の方が高くなっています。



属性別（年代）集計結果では、「議会に関心がある（「ある」「まあまあある」の合計）」と回答した割合は、60 歳代と 70 歳代が他の年代と比べて高くなっています。

また、10 歳代、20 歳代では、「議会に関心がない（「ない」「あまりない」の合計）」と回答した割合が 50%を上回っています。



(17) 「市議会だより」の認知度

「あなたは、備前市議会の情報などを見たり聞いたりしたことがありますか？（複数回答可）」の結果、「市議会だよりを読んだ」が、507件であり、全体の56.2%となっています。

